



令和5年8月19日
第 40 号

発行所
青森県立青森高等学校同窓会
事務局
青森県立青森高等学校渉外部内
〒030-0945
青森市桜川8-1-2
TEL (017) 742-2411
FAX (017) 742-6074



満を持しての通常懇親会開催

同窓会会長 沼田 廣

皆さまには、平日頃同窓会の活動についてご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

去る五月八日より新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザ等と同じ「五類」に移行したことから、政府が行動制限を一律に求めることはなくなり感染対策は個人や事業者の判断に委ねることになりました。

ねぶた祭も二〇二〇年以来コロナ禍の拡大に伴い中止や制限下での開催となっていました。今年も制限なしの開催となりました。

このような状況を踏まえ同窓会運営委員会及び役員会で検討した結果、同窓会懇親会を満を持して通常通りに八月十九日(土)午後五時よりホテル青森で開催することに決定しました。

当番幹事は、青高四十九回生(代表幹事 岩城淳史、実行委員長 間山浩樹)、平成十一年卒業の皆さんですが、「らしく、自分らしくいられるひととき」をテーマに色々新しい企画を立てています。入場券は各期の代表からお買い求めいただくのが原則ですが、同窓会のホームページやポスター・チラシに印刷されたQRコードから個人申し込みも出来るように工夫されています。また、昨年同様、当日参加の難しい方には、ご寄付も受付しております。当日、同窓生の笑顔が会場一杯にあふれますよう願っています。

さて、六月には新しい青森県知事と青森市長が選出されました。また、経済界では、青森銀行に新頭

取が誕生しましたが、このお三方はいずれも青森高校の卒業生です。同窓生が地域社会のリーダーとなつて地元の発展に尽くされることは私たちの誇りであり喜びです。今後のご活躍を期待したいと思います。

コロナ禍の三年間、私たちは行動制限をされ大変不自由な生活を余儀なくされました。会合の自粛のため、テレワーク、リモート授業、オンラインサービス、ズームミーティング等色々な事をオンラインでしてきました。その結果、文字、映像、人びとの表現、動き、思考を含むものすごい量の情報をAIに与え続けていたのです。それによりコロナ明けの二〇二三年に一気に、「チャットGPT」等の生成AIが出てきたという見方もあります。ソフトバンクグループの孫正義会長兼社長は、今年の定時株主総会で「AI革命が爆発的に起きている。現在は人間が地球上で最も優れた知性を持つが、十年以内に(AIに)一気に追い抜かれる。」と見通しています(二〇二三年六月二十二日 東奥日報記事)。以前、人間がコンピュータに支配される社会を描いた映画を見たことがあります。AIをあくまでツールとして使いこなす賢明な人類でありたいと願うものです。

最後になりましたが、皆さまのご健勝、ご活躍を祈念してご挨拶いたします。



無限の象徴

校長 高橋 英樹

日頃より沼田会長をはじめ同窓会の皆様には、本校の教育活動に対し格別なる御支援と御協力を賜り心から感謝申し上げます。

この春、本校に着任致しました高橋英樹と申します。歴史と伝統を誇る青森高校で教育活動に携わることとなり、その重責に身が引き締まる思いです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

四月、本校での勤務開始早々に感動したことが二つあります。それは、生徒の取り組み姿勢と校歌です。

まずは、生徒の様子です。始業前の自主学習 授業、部活動 その他の様々な活動に打ち込んでいる姿を見て、まさに「自律自啓」誠実勤勉「和協責任」の綱領のもと、文武両道の精神を堅持し、自発的で洗練した校風が根付いていると感じました。生徒一人一人がそれぞれの夢に向かって果敢に未来を切り拓いていく無限の可能性を感じ、頼もしく誇りに感じております。

また、校歌「無限の象徴」を聴き、その独特で芸術的な美しさに強く感銘を受けました。冒頭の荘厳でクラシック音楽のような前奏は校歌の始まりとは思えない印象で、この後どのように歌が進行していくのかと惹きつけられました。続いて、美しく力強い歌が進んでいくのですが、後半、いったんテンポがゆっくりとなり、さらに壮大な響きで歌の終わりへ向かいます。そして最後の「無限の象徴」というフレーズは曲がさらに続いていくような印象を持たせたい音で終わるのです。これはまさに子どもたちの無限の可能性を印象的に表現したものだと思えます。歌詞についても「東嶺、岩木嶺、八甲田山」の山並みと「陸奥湾」という豊かな自然環境のなかで「人清く」

ある姿と、「誠実」「和協」という伝統の精神が表現されています。そして、「おお伝統の白壁の学びや 永劫の時の流れにうち刻み かざさんかざさん「無限」の象徴」と続き、本校の未来の発展への強い思いが感じられます。昭和二十六年という時代に、これほど新鮮で芸術的な校歌を生み出した横山武夫先生と木村繁先生をはじめ関係者の皆様の思いに強く感動しました。校歌は学校の象徴であり、時を超えて同窓生同士を結ぶ絆となるもの。今後も大切に歌っていきたく思います。

さて、本校は学習活動において「探究活動等の中核的な役割を担う重点校」という役割を担っております。また、今年度から令和九年度までの五年間、文部科学省によるスーパー・サイエンス・ハイスクール事業の第二期目の指定が決まりました。これまで取り組んできた諸先輩方の成果をさらに発展させ、より高度で充実した理数教育を進め、県内外や世界を視野に入れた科学技術系グローバル人材の育成に取り組んでまいります。

私は、生徒が多くの人と出会う機会と幅広い分野において積極的にチャレンジする機会を多く創りたいと考えています。人との出会いは人間を成長させ、人生を豊かにしてくれます。挑戦すること、新たな自身の能力や可能性への気づきとなり、夢や希望を広げてくれます。本校での出会いと挑戦の先に、変化の激しい時代を生き抜く力を身につけた、逞しく魅力あふれる青高生の姿があると確信し、教職員一丸となって取り組んで参ります。

結びに、同窓会の皆様ますますの御健勝と御活躍をお祈り申し上げますとともに、母校への変わらぬ御支援御協力を願ひ申し上げます。



統一青高19回生 (昭和44年3月卒業)

電子羊は柵を超えられるか

同窓会副会長 對馬 敬子

コンピューターが一般社会に登場してから百年に満たないというのに日本のモバイル端末の使用率は既に九割を超えている。こうなるとデジタル端末を使用していない人間はデジタル弱者になってしまう。

街角で良く見かけた電話ボックスが気が付くと減り、病院に置かれていた公衆電話の数も減っている。携帯電話を持たない者はどこから電話すればいいのか。当たり前のように生活にコンピューターが入り込んでいる現代では調べ物をする時は辞書よりはネット検索、健康管理にはウェアラブル端末、果ては何かについてレポートを書きたければチャットGPT、ちよつとした挿絵が欲しければAI画像生成システム等等。スマホなどは外部記憶装置を持ち歩いているに等しい。

ただ便利である事は両刃の剣で果たして今提示されている情報が誤った情報なのか正しい情報なのかを自分で判断しなくてはならない。人は声高に言われる方向に引かれやすく、安易な誘導には必ず落とし穴がある。上京して駅のホームに立つとほとんどの人間が

俯いてモバイル端末を覗き込んでいる。今見なくてはならないものなのか？まるで電子羊の群れを見ているかのような不気味な印象を受けるのは私が地方の人間だからなのか？何であれ、これからの世の中増々コンピューターの機能は向上していき我々の生活から切り離せない。AIも世の中に浸透していくだろう。

これをどう使いこなしていくかはこれからの若い世代にかかっている。

統一青高32回生

青高のネットワークの力

西 秀 記

(昭和57年3月卒業)

青高を卒業してはや四十年以上が経った。いわゆるイイ歳であるが、同じ青高三十二回生の仲間が集まると、外観に多かれ少なかれ変化はあるものの、青高にいた頃と気持ちはまったく変わっていない。私の青高時代を振り返ると、軽音楽部での思い出が非常に多い。バンドを組んで、いろんな曲を演奏した。その後、大学に進学

しても、都内の企業に就職してもバンド仲間には恵まれ、ずっと音楽を続けることができた。今もプロの世界で活躍している音楽仲間が何人もいることは自慢のタネでもある。

そして、青森市にUターンしてからも軽音楽部OBの仲間たちとバンド活動を続けている。時々ライブハウスで演奏することもあるが、その時には音楽仲間や音楽好きな人たちが集まって楽しいひとときを過ごすことができ、一生続けられる良い趣味を持たたととてもうれしく思っている。

さて私は、本年六月四日付で青森市長に就任し、五十九歳になって人生の大きな転換期を迎えた。その選挙においても青高三十二回生の仲間はもちろんであるが、同窓の先輩および後輩の皆様には絶大なご支援を賜ったことが何よりも心強く、本当に感謝の念に堪えない。就任後、市行政としてお世話になっている関係各位にご挨拶に伺った際にも、同窓生のいかに多いことか。青高のネットワークは何ものにも代え難い一生もの大切な宝物である。後輩の皆さんもその絆を大切にしてもらいたい。



統一青高42回生

同窓会反省

代表幹事 久保田 新

(平成4年3月卒業)

平成二十八年に我々四十二回生は当番幹事を担当し、コロナ禍を経ても、その絆は繋がっています。同窓会といえは、同期だけでなく、先輩・後輩の関係も大切。その後輩との関係で、私はやらかしてしまいましたので、ここに反省文を書いたためだと思います。

昨年、当番幹事がチケットを渡しに来た際に、「同窓会って人数制限してまでやることなんですかね？そんな、不確定要素が多い時に当番幹事大変ですね。」といった趣旨の話をさせて頂きました。もししたら、後日、同期から、「当番幹事が四十二回生の代表にお叱りを受けたって言ってたけど、何言ったの？」と連絡がありました。やらかしてしまいました。私の話の趣旨は、前段の同窓会を開催することへの批判ではなく、後段のそんな大変な時期に当番幹事を担当する後輩への労りだったのですが。

二十代前半の頃に読んだ太宰治の「如是我聞」という随筆の中に「先輩に対する礼は教えられてきたのに」先輩が後輩に対する礼、先生が生徒に対する礼、親が子に

対する礼、それらは私たちが、一言も教えられたことはなかった」という一節があり、衝撃を受けました。それまで、後輩に対する礼など考えたこともなかったのですが、それ以降、私は先輩に対する以上に、後輩に対する礼を重んじて生きてきました。それなのに、それなのにです。油断してました。昨年の当番幹事のみなさん、心ない発言、本当にごめんなさい。

このような気づきもある青森高校同窓会。これからも同期だけではなく、後輩・先輩の関係も大切にして、この会を盛り上げていきたいと思えます。

統一青高42回生

スタートは

青高将棋部から

青森高校 渉外部主任

飯田 巧

(平成4年3月卒業)

このたび、青森高校で渉外部主任を務めることになりました。私は三年前に母校に赴任しましたが、これまでは担任が多かったため、初めての分掌で忙しいながら



も新鮮な毎日をご過ごしています。青高での現役時代を振り返ると、将棋部の活動が特に思い出されます。部員数こそ少なかったですが、強い後輩達もいて刺激になり、楽しく充実した部活動でした。自慢話になってしまいますが、高校三年最後の夏、高校将棋選手権の団体戦で全国優勝を果たしたことは、一生の思い出として強く記憶に残っています。初めての全国大会代表で初優勝という奇跡的な結果を残すことができ、大きな自信になりました。












この後、大学生や社会人になっても将棋への熱は冷めず、現在は県高等学校文化連盟将棋部の委員長（事務局）として、県高校将棋の運営・普及に携わっています。今振り返ってみると、すべては高校時代がスタートでした。改めて「青森高校に育ててもらった」という思いを強くしています。

渉外部へ移ってから、生徒会誌やPTA広報誌「甲田」等で当時の将棋部が掲載された記事を見る機会もあり、懐かしく感じるとともに、記録を残していただいたことをありがたく思っています。

母校の渉外部主任になったのも何かの縁だと思しますので、これまでの青森高校への恩を返していくため、微力ながら力を尽くしていきたいと思えます。今後ともよろしく願っています。

青森高校俳句同好会「三四郎句会」

青森高校卒業生を中心に、年に数回、市内の飲食店で和気あいあいと句会をしています。今回は夏の句を中心に、メンバーの作品をご紹介します（括弧内は俳号）。

- | | |
|--|---|
|  音立てて目指す胃袋生ビール (玄武) |  地図上で思いを馳せる夏の旅 (佐藤環子) |
|  スイカ切りラジオ体操送り出す (永澤芽衣) |  ジョッキ持つ水着の美女は今いずこ (堀川直子) |
|  日のひかり映し返すや更衣 (すう) |  君去りて半分だけの冷蔵庫 (幸賀省志) |
|  蚊帳の中昼間大の字夏座敷 (稲見雨男) |  満天の星と覚しき海月かな (楊子妃) |
|  みちのくの修験者癒す山清水 (鈴木狂山) |  涼しさよ汽水湖よりのゆるき風 (山口刃心) |
|  噴水やタイルの碧に白く立つ (花らっ京) | ■事務局
山口 忍 shinobuyamaguchi@hotmail.com |

市民古代史の会

青森高校卒業生を中心に市民による『古事記』の講読会を毎月1回行っています。

高校時代の日本史の授業では、事柄や年号を覚えるのに必死で、原文にあたるということは、ほとんどなかったと思います。原文を読み解いていくと、その面白さにどんどん吸い込まれていきます。

歴史を学ぶということは現代を知り、これからの生き方を考えるヒントにもなります。毎回20名近い参加者があり、予習、復習、宿題もありません。お気軽に参加ください。

会 場：リンクステーションホール青森
(青森市文化会館) 3F小会議室

講 師：藤本 和夫 (青高19回生)

例会日時：原則として月1回土曜日 14:00~16:00

8/26(土)、9/30(土)、10/28(土)、

11/25(土)、12/23(土)

テキスト：講師が配付するプリント。

岩波古典文学大系『古事記・祝詞』『日本書紀』

年 会 費：3,000円

入 会 金：1,000円

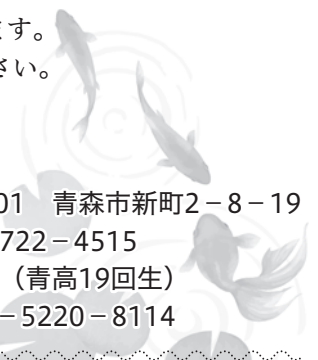
事 務 局：〒030-0801 青森市新町2-8-19

TEL 017-722-4515

藤本 和夫 (青高19回生)

携 帯 080-5220-8114

多くの方のご参加をお待ちしています。





『あさぐ会』 第3回報告
 45回生代表幹事 **唐牛 貴文**

令和3年の発足に続き、第3回を令和4年10月29日(土)に浅虫温泉の樹齢700年赤松の巨木(全国巨木100選)と高野山陸奥護国寺の八十八か所石仏願掛け巡りをお目当てに、約1時間半を10名であさいできました。

当日も絶好の曇天スタート。普段にはない木漏れ日の風景を楽しみ、世代問わない交流もしながらちょうどよい汗をかきつつ楽しむことができました。

終了後は市内に戻り、ワインを囲みながらの懇親会です。この懇親会が楽しくて参加される方もいるくらい楽しい時間です。

まだ知らないスローな青森の景色を堪能してみたい方、是非一緒にあさいでみましょう!

【連絡先】唐牛 貴文 090-4916-1620

青森高校ゴルフ同好会 「無限会」

■ 本会について

本会は今年で47周年を迎えた同窓生で構成するゴルフ愛好会です。

活動概要は下記のとおりですが、昨年までは新型コロナウイルス騒動にも負けず、常に和気あいあいと楽しいゴルフを目指し、80歳を超えるベテランメンバーも若い初心者メンバーも一緒になって、同窓生同士の旧交を深めたり、好プレーや珍プレーに感心したり笑ったりしながら年5回のコンペを楽しんでいます。

今年もコンペは毎回10組(40名)を超える盛況となっています。昨年は、元東京青高同窓会会長の清藤良則様がわざわざ千葉のご自宅から参加され、会長や同期の方と一緒にプレーされて楽しんでいただけました。本会は、卒業生だけでなく現職・元職を問わず青森高校教職員の方々も会員になりますので、教職員の皆様も是非ご参加ください。

新入会員の方は当該年度の年会費無料の特典が与えられているため、たくさんの方が入会されプレーを楽しんでいます。

■ 活動の概要

- 1 会 長 19回卒業 沼田 廣
- 2 メンバーの条件
 本校同窓生及び **本校教職員(現職・元職)** であること
 4月募集・随時入会可能
 他校生でもゲストとしてオブザーバー参加可能
- 3 活動場所 青森カントリークラブ
- 4 活動回数 5・6・7・9・10月(年5回)
 毎回10組前後(40人前後)が参加
 8月に行われる3校(青高・八高・弘高)対抗戦への積極的参加。例年3校合計約100人程度のゴルフ愛好家が集まります。コロナ禍も収まり、今年から表彰式が復活します。賞品も数多く大変盛り上がります。
 懇親会(10月)の実施
- 5 競技方法 ダブルペリア方式によるストロークプレー
 1~5位・BG賞・BB賞・飛び賞・参加賞
- 6 現在の会員数 73名

- 7 年会費 3,000円(事務費)
- 8 例会参加費 2,000円
全て賞品(日専連ギフトカード)として還元
- 9 事務局 19回卒業 池田 好明
 青森市岡井字八ツ橋156 Tel/Fax 017-738-6197



第2回コンペの参加者

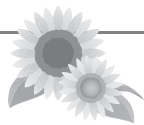
寄 付 者 名 簿

区分	団 体 ・ 個 人	金 額	用 途
一般・寄付金	青森高校バスケットボール部OB会	200,000円	バスケットボール部活動資金(10万円×2回)
	72回生PTA	20円	青森高校活動資金(3学年諸費残金)
	青森高校硬式野球部後援会三四郎クラブ	200,000円	硬式野球部活動資金
	公益財団法人日本教育公務員弘済会青森支部	110,000円	教育文化奨励金(放送委員会3万円、将棋部3万円、美術部1万円、文学部1万円、音楽部3万円)
	58回生有志一同	120,000円	受験費用支援
	73回生PTA	2,122円	青森高校活動資金(3学年諸費残金)
	金八神漁網(株) 神 慶太氏	600,000円	進学資金(がんばれ奨学金)
	合 計	1,232,142円	令和4年4月~令和5年3月まで

令和5年3月卒業生(73回生)の進路状況

進路指導主事
玉田 英徳

進路概況について

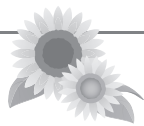


今年3月に卒業した生徒の進路状況をお知らせします。
(合格数ではなく実際に進学・就職した先の数です)

内 訳		県 内	県 外
大学等	国公立大	43	122
	私立大他	3	68
専修・各種学校・他		0	2
就職(文科省管轄外校を含む)		3	1
受験待機(浪人)		16	16
合 計		65	209

私立大学への進学が若干増加しました。就職の3名は全て公務員(青森県職員)でした。また、海外の学校へ進学する生徒も1名おりました。

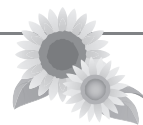
国公立大学合格状況



年度 大学名	R 5 (2023)			R 4 (2022)		
	現	浪	計	現	浪	計
東 京 大	1		1	3		3
京 都 大	2		2	1		1
東京工業大	1	1	2	1	1	2
北 海 道 大	7		7	4	3	7
東 北 大	25	3	28	22	6	28
大 阪 大		1	1	2		2
神 戸 大	1		1		1	1
弘 前 大	43	3	46	47		47
岩 手 大	14	3	17	12	1	13
山 形 大	5		5	4	1	5
筑 波 大	1		1	4		4
埼 玉 大	3	1	4	5		5
千 葉 大	4	1	5	4		4
横浜国立大	3		3	5		5
新 潟 大	8	1	9	6		6
そ の 他	61	8	69	59	5	64
合 計	179	22	201	179	18	197

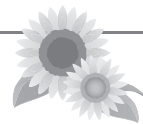
今年度は共通テストにおいて正解の追加および得点調整の実施が発表されるなど、受験生にとって不安な入試でありました。その中で国公立大学への現役合格数は179で昨年度と同数でした。東京大の合格数は1名のみと苦戦しましたが、京都大2名、北大7名、東北大25名など全般的にはよく頑張ったといえます。特に今年は判定が思わしくない中でも諦めずに志望を貫く生徒が多く、CやD判定から合格を果たす生徒が昨年以上に多くおりました。自律自啓の精神がしっかりと根付いている結果といえると思います。

医学科合格状況



国立大学医学科への合格者は16名で、ここ数年では最多の数となり、県内高校でも最多でした。総合型選抜での合格が多数でしたが、一般選抜での合格も東北大学2名、弘前大学5名と大健闘を見せました。この学年もコロナ禍で以前は行うことができていた様々な医療体験行事を経験できなかった学年です。しかし、本校独自の行事を企画したのに加え、様々なオンライン行事に参加させることで、医療へ向かう資質の育成に努めてきました。また、教員一丸となって全校体制で医学科指導のサポートをしたことも、大きく影響したと思われます。

私立大学合格状況



年度 大学名	R 5 (2023)			R 4 (2022)		
	現	浪	計	現	浪	計
慶 応 大	3	4	7	6		6
早 稲 田 大	10	3	13	18	2	20
東京理大	6	6	12	10	1	11
明 治 大	12	4	16	12	3	15
中 央 大	13	4	17	15	2	17
法 政 大	13	1	14	9	3	12
同志社大	2	4	6	4		4
立 命 館 大	3	4	7	3	4	7
全私大合計	236	61	297	273	26	299

ここ数年、現役生の私大受験数・合格数ともに若干減っていますが、厳選した受験に努めていることによるものと思われます。

部 活 動 の 記 録

令 和 4 年 度

Table with columns: 部活名, 大会名/種目, 成績, 氏名・学年. Includes categories like ボート部, 弓道部, ハンドボール部, バレーボール部, テニス部, 空手道部.

運 動 部

Table with columns: 部活名, 大会名/種目, 成績, 氏名・学年. Includes categories like 陸上競技部, 水泳部.

令 和 4 年 度 各 賞 受 賞 者

- 硬式野球部 青森県高等学校野球連盟 功 勞 賞 加 賀 颯 太 (3)
文学部 青森県高等学校文化連盟 連 盟 賞 長 内 の の か (3)
将棋部 青森県高等学校文化連盟 連 盟 賞 工 藤 知 里 (1)
弓道部 青森県高等学校体育連盟 優 秀 選 手 賞 千 葉 時 生 呼 (3)
テニス部 青森県高等学校体育連盟 優 秀 選 手 賞 三 浦 陽 (1)
青森県スポーツ協会 青森県スポーツ協会 令 和 四 年 青 森 県 ス ポ ー ツ 奨 励 賞 三 浦 陽 (1)
ボート部 青森県高等学校体育連盟 優 秀 選 手 賞 加 賀 谷 頼 虎 (3)
青森県スポーツ協会 優 秀 選 手 賞 佐 藤 来 樹 (3)
日本ローイング協会 全国高等学校体育連盟 優 秀 選 手 賞 (全 国) 佐 藤 来 樹 (3)
青森県ボート協会 青森県ボート協会 長 賞 松 橋 璃 琴 (3)
ハンドボール部 青森県高等学校体育連盟 部 長 賞 福 地 泰 紀 (3)・高 木 皓 斗 (3) 平 間 詩 乃 (3)・中 川 歩 美 (3)
放送委員会 青森県高等学校文化連盟 連 盟 賞 梅 内 彩 乃 (3)
青森県高等学校文化連盟 連 盟 賞 小 倉 有 貴 (3)

文 化 部

Table with columns: 部・委員会・教科名, 大会・コンクール名/種目, 成績, 氏名・学年. Includes categories like 文学部, 国語科, 美術部, 吹奏楽委員会, 箏曲部, クイズ研究会, ホームルーム活動.

Table with columns: 部・委員会・教科名, 大会・コンクール名/種目, 成績, 氏名・学年. Includes categories like 音楽部, 放送委員会, 将棋部, 書道部.

令 和 4 年 度 青 森 高 校 同 窓 会 庶 務 報 告

令 和 4 年 6 月 1 日 ~ 令 和 5 年 5 月 31 日

Table with columns: 年月日, 項 目. Lists various events and dates from 令和4年 to 令和5年.

地 区 同 窓 会 ご 案 内

Table listing regional alumni associations with columns for association name, president, vice president, and contact information.

令和 5 年度 青森高校同窓会・総会

幹事 / 第49回生(平成11年卒)

日時

令和5年8月19日(土)

総会16時 / 懇親会17時(受付16時30分)

於

ホテル青森

青森市堤町1-1-23



画「郷青」 小林夏奈子

ら
し
く

4

9

自分らしくいられるひと時



お問い合わせ 青森高校同窓会実行委員会 実行委員長 間山 浩樹 (TEL:090-2977-3934)

編集後記

青森高校は、今年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール2期目の指定校となりました。今までの成果をもとに青高生の無限の可能性がますます広がっていくことでしょう。
原稿をお寄せいただいた皆様、同窓会懇親会当番幹事49回生の皆様ありがとうございました。これからも会報を通して皆様の親睦を深めるお手伝いできればと思っております。